

令和6年10月1日発行

発行・編集／香川県高等学校PTA連合会事務局 高松市西内町7番11号 香川県高等学校PTA会館内

TEL087-851-4614 FAX087-851-4628 E-mail info@kagawa-koupren.com URL http://kagawa-koupren.com/

## 会長あいさつ



香川県高等学校PTA連合会

会長 杉本 勝利

会員の皆様、日頃より香川県高等学校PTA連合会の活動に對し、まして、ご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。

さて、昨今の少子化や諸物価高騰、AI技術をはじめとする科学技術の進歩など、教育を取り巻く環境は加速度的に変化し、保護者としては子どもたちの将来が見通せないという不安が募る時代となつてまいりました。

また、学校や社会が大きく変わつた中、PTA活動につきましても、今一度それぞれの学校に即した活動の在り方を検討していくべき時代になったと実感しています。PTA活動を一層活発にしていけるだけでなく、誰もが参加できるような柔軟な体制に移行した、活動を精選し学校への経費支援中心にしていくなど、見直す方向性はいくつもあると思います。

いずれの場合も大切なことは、先生方と協力しながら、生徒達の明るい未来実現のため協力・支援を惜しまない姿勢であると考えます。

高P連といいたしましては、今後とも生徒たちの学校生活が安心・安全でより充実したものになりましよう、また、より多くの会員の皆さんにPTA活動の意義を実感していただけるよう努めて参りたいと考えております。

最後にになりましたが、今まで同様高P連の活動にご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

## 令和6年度 香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰及び高P連総会並びに 一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会

6月11日、レクザムホールにおいて、令和6年度PTA活動推進功労者等の表彰式及び香川県高等学校PTA連合会総会、並びに一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会が開催されました。



表彰式では、淀谷県教育長を始め、県教育委員会、関係団体等のご来賓のご臨席をいただき、まいりました。

今回退任されたPTA活動推進功労者として、表彰状32名、感謝状47名、県連本部功労者7名が表彰され、杉本勝利会長から賞状と記念品が贈られました。

来賓祝辞のあと、受賞者を代表して高松南高校PTA会長であり、本会理事であった川西裕幸様が誠意溢れる感動的な謝辞を述べられて式は終了しました。



昨年度から開始した高等学校等PTA広報誌コンクール表彰式もあわせて行いました。

その詳細は8Pの「PTA NEWS」のとおりです。

高P連総会においては、

- 令和5年度事業報告、監査報告
- 令和6年度事業計画案
- 令和6年度収支予算案
- 令和6年度役員選任
- 第6回香川県高P連研修会について
- 第66回中国・四国地区高P連大会（高知大会）について
- 第73回全国高P連大会茨城大会について
- 議案について、本会役員より説明・報告の後、審議され全議案が承認されました。
- 続いて、教育振興会定時評議員会においては、
- 令和5年度収支決算、監査報告
- 理事及び監事の任期満了に伴う後任者の選任
- 2議案が滞りなく議決しました。
- また、2月の理事会で議決されていた
- 令和5年度事業報告
- 令和6年度事業計画
- 令和6年度収支予算案の3項目の報告が行われ会は終了しました。



教育振興会定時評議員会の橋本議長



令和6年度高P連役員あいさつ

会長あいさつ ..... 1  
 香川県高等学校PTA活動推進功労者表彰及び高P連総会並びに 一般財団法人香川県高等学校教育振興会定時評議員会  
 池田知事に要望書提出、教育長との意見交換会実施 ..... 2  
 役員名簿 ..... 3  
 新規事業／「振興奨励助成事業」／祝表彰

キャリアデザイン研修（高松大学） ..... 4  
 〃（徳島文理大学） ..... 5  
 中・四国、全国高P連大会報告 ..... 6  
 PTA活動報告（三木高校、尽誠学園高等学校） ..... 7  
 かかわ総文祭2025 ..... 8  
 PTA NEWS



# 日本一の教育県復活を目指す! 池田知事あてに「要望書」提出

8月8日、高P連の要望書を池田知事に提出しました。高P連側の参加者は杉本会長、神余副会長、碓石理事、山田監事、事務局長の5名です。

要望に先立ち、杉本会長から、昨今の諸物価高騰に伴い保護者の負担は大きくなっているが、全ての生徒が郷土香川の意未来を担う宝であり、その夢の実現のために我々が知恵と汗を絞っていくことが最も必要な施策であることや、少子化が進む中かつての教育県香川の高名を回復するため先進的な施策を果敢に取り入れていく必要があると訴えました。その後、今年度の具体的な要望について、参加者全員から説明を行いました。

要望書の内容は、教育内容や施設設備の充実など多岐にわたりますが、特に新規の要望内容を詳しく説明しました。神余副会長からは本県で教員志願者が増えていることは素晴らしいが、より一層志願者が増えるよう、日本一働きやすく先生方が働きがいを実感できる環境の整備をお願いしたいと要望しました。

山田監事からは「せとうち留学生」を増やすための学生寮の整備を、碓石理事からは、体育館へのエアコンの整備をそれぞれ訴えました。杉本会長は県教委が進めるタブレット端末の自費購入について当面の間の凍結することや、導入の際の経済的な負担など教育

の機会均等への配慮を要望しました。

特別支援学校については、学習環境の整備に加え、知事に学校訪問をお願いしたいとの強い要望があったことを説明しました。

池田知事からは、「大変貴重な指摘をいただいた。教育の充実のため尊敬される先生が増えるよう取り組みたい。留学生を増やす取り組みも考えていきたい。タブレット端末の自費購入の凍結は考えていないが低所得者等への対応はきちんとしたい。特別支援学校の訪問はすぐにでも対応する。体育館へのエアコン整備はすぐには難しいが何らかの対応はしたい。」との回答をいただきました。どの要望にも真剣に耳を傾けていただき、一つ一つ丁寧にお答えいただいたのが印象的でした。



知事に要望書を手渡しました

## 県教育長との「意見交換会」実施

8月7日、県教育委員会と高P連代表者との意見交換会が、天神前分庁舎の教育長室で開かれました。県教育委員会からは淀谷教育長をはじめ幹部7名、高P連からは杉本会長、碓石理事、山田監事、事務局長の4名が出席しました。

意見交換会では、まず杉本会長が、一昨年以来さまざまな要望にご尽力いただいていることにお礼を申し上げるとともに、保護者の負担が大きくなっていることや少子化の影響で公私間や地域間で生徒や教員の獲得競争が激しくなっていることから、知恵と汗を絞りたい、先進的な取り組みに御尽力いただきたいと挨拶しました。その後、高P連を代表して各参加者が、それぞれ県立学校の教育の充実や教育環境の整備等に関する次のような具体的な考えを説明しました

### 【学校教育の充実について】

- ①本県では教員志願者数が増えていることは素晴らしいことだが、日本一働きやすく先生方も働きがいを実感できる環境整備を進め、より質の高い先生が増えるよう改革を進めていただきたい。
- ②今回のアンケート調査で最も多くの学校から要望があったのは、「せとうち留学生」用の学生寮の整備であったので、働き方改革のためにも、少子化対策のためにもぜひ実現をお願いしたい。

### 【教育環境の整備・充実について】

- ①老朽化した建物の計画的な改修、特に特別支援学校のトイレの洋式化やバリアフリー化、運動場など危険箇所の整備をお願いしたい。
- ②タブレット端末の自費購入について、保護者間に動揺が広がっている。当面の間の凍結や導入の際には経済的に厳しい家庭への負担の回避をお願いしたい。
- ③健康的で安全な学校生活を保証するため体育館にもエアコンを整備していただきたい。



県教委幹部との意見交換会のようす



役員名簿 令和6年度  
一般財団法人香川県高等学校教育振興会

役職名	氏 名	所属校等	所属高校等役職名
理 事 長	杉 本 勝 利	香 川 中 央	顧 問
常務理事	國 木 健 司	振 興 会 事 務 局	事 務 局 長
理 事	金 子 達 雄	高 松 工 芸 校	校 長
	山 本 主 税	高 松 商 業 校	校 長
	小 山 圭 二	観 音 寺 第 一 校	校 長
	北 堀 礼 子	高 松 第 一 校	校 長
	香 川 泰 造	高 松 中 央 校	校 長
監 事	山 田 士 郎	高 松 西	P T A 会 長
	高 田 智	丸 亀 城 西	P T A 会 長

お知らせ

- ★高P連と教育振興会は、令和7年度に開催予定の全国総文祭を後援、協賛しています。
- ★令和8年度開催予定の中四国高P連大会香川大会に向け準備委員会を発足させました。
- 同大会成功のために役員を増員する予定です。

役員名簿 令和6年度  
香川県高等学校PTA連合会

役職名	氏 名	所属PTA	単P等職名
会 長	杉 本 勝 利	香 川 中 央	顧 問
副 会 長	浅 野 吉 弘	三 本 松	P T A 会 長
	金 子 達 雄	高 松 工 芸 校	校 長
理 事	神 余 智 夫	丸 亀	P T A 会 長
	安 田 敏 男	高 松	P T A 会 長
	佐 藤 隆 宏	石 田 校	校 長
	碓 石 知 代	高 松 南 北	P T A 会 長
	野 村 さ ゆ り	高 松 北	P T A 会 長
	常 井 ミ チ ル	坂 出 工 業	P T A 会 長
	白 川 太 一 郎	善 通 寺 第 一	P T A 会 長
	小 山 圭 二	観 音 寺 第 一 校	校 長
	三 宅 甲 介	観 音 寺 総 合	P T A 会 長
	香 川 泰 造	高 松 中 央 校	校 長
常務理事	三 谷 雄 治	坂 出 第 一 校	校 長
	西 山 香	聴 覚 支 援 校	校 長
監 事	國 木 健 司	高 P 連 事 務 局	事 務 局 長
顧 問	山 田 士 郎	高 松 西	P T A 会 長
	高 田 智	丸 亀 城 西	P T A 会 長
顧 問	泉 満	高 P 連 元 会 長	顧 問
	千切谷 耕一郎	高 P 連 前 会 長	顧 問

【新規事業!】 生徒の表彰制度開始!

- 生徒の可能性の大きな発展を期待します!
- 心身ともに健全で逞しい成長を奨励します!!

《表彰対象》

1 グローバル部門

- (1) スポーツ分野で国際大会に出場
- (2) 芸術・文化分野で国際的なコンクール等に出場

2 善行生徒部門

- (1) 緊急時貢献活動
  - ・迷子や徘徊する高齢者の救護・支援に貢献
  - ・交通事故の負傷者の救急救命活動に貢献 等
- (2) 地域社会貢献活動
  - ・自然災害時のボランティア活動に自主的に参加
  - ・地域環境の改善に自主的に取り組む 等

令和6年度 「振興奨励助成事業」決定!

- ①高等学校関係研究団体
  - ・香川県高等学校教育研究会工業部会  
(マイコンカーラリー・四国大会の運営と選手強化)
  - ・香川県高等学校文化連盟  
(来年度総文祭のため吟詠剣詩舞部門の強化事業)
- ②積極的に教育研究を推進する学校
  - ・坂出第一高校  
(地域の高齢者のためのお弁当の考案・製作・提供)
  - ・笠田高校  
(志々島での除虫菊栽培と蚊取り線香キット制作)
  - ・大手前丸亀中・高校  
(芸術鑑賞教室として演劇「Touch」を鑑賞)
- ③特色ある取組みを推進する単位PTA
  - ・香川中部支援学校PTA  
(防災アドバイザーによるPTA防災研修会開催)

祝 表 彰  
～おめでとうございます～

茨城大会における全国高P連会長表彰は、香川県から次の個人・団体等が表彰されました。

全国高P連会長表彰 (個人)



入門 美穂 様  
(高松高校前PTA会長)



亀山 磨聖 様  
(観音寺総合高校前PTA会長)

全国高P連会長表彰 (団体)



多度津高校PTA



坂出第一高校PTA

# 【高校生・保護者のためのキャリアガイダンス事業】

高校生の多様な進路希望の実現のため、県内の大学・短大と連携して、各学科の特色や大学生活の魅力、卒業後の進路、進路実現に向けたアドバイスなどの情報をお届けします。

## 高松大学

### ① 大学の特色

高松大学は、「県都高松に四年制私立大学を」という機運の高まりの中、県と市の支援を受け、高松短期大学を母体として、平成8年4月に経営学部産業経営学科として産声をあげました（現在は経営学科）。平成12年には大学院経営学研究科を、平成18年には発達科学部子ども発達学科を開設しました。

建学の精神「対話にみちみちた人間教育」「理論と実践」「自分で考え自分で行なえる人間づくり」などに基づき、地域に根ざした教育の実践に取り組んでいます。地域の企業等と連携した学びにより、現場力を身につけるだけでなく、学びの深化を実現し、ビジネス分野と教育分野において地域社会の発展に寄与できる人材を育成しています。

#### \*ゼミナール活動

1年次から、全員が少人数のゼミナール（以下、ゼミ）に所属します。2年次からは、経営学部ではコースに応じて、発達科学部では専門分野に応じて、専門性の高いゼミに分かれます。ゼミの担当教員が学生を、入学から就職まで手厚くサポートします。ゼミは学生にとって学校生活の本拠であり、家族のような雰囲気の中で、学問研究やスキルの習得、そして、就職活動に取り組みます。

#### \*強い就職

「就職の高短」「保育の高短」からの地元の企業や保育所等とのつながりを継承し、キャリア教育のさらなる充実により、経営学部、発達科学部においても、ほぼ100%となる就

職率を達成しています。そして、就職者のうち県内就職率は73%と非常に高く、若者の香川県への定着、地域の活性化に貢献しています

### ② 経営学部の特徴

#### \*4つのコース

2年次から、「企業経営コース」「経営情報コース」「会計コース」「スポーツ経営コース」に分かれ、それぞれ、企業家や経営コンサルタントなど、システムエンジニアやデータ・サイエンティストなど、公認会計士や税理士や銀行員など、スポーツインストラクターや警察官や消防士など、目標に沿った知識と実践力を効果的に身につけます。

#### \*「理論と実践」を融合させる授業

#### 【企業調査入門】

さまざまな企業を調べ、事業の特徴や各社の取組などを実際に訪問して調査します。調査結果は発表資料にまとめ、プレゼンテーションすること、学生同士で共有します。



企業調査入門

#### 【地域連携活動Ⅰ・Ⅱ】

地域で開催される「むれ源平石あかりロード」に企画から実施まで関わり、イベントの企画・運営等について実践的に学びます。

### ③ 発達科学部の特徴

#### \*4つのコース

「児童教育コース」「幼児教育コース」「特別支援教育コース」では、先生（小学校、幼稚園・子ども園・保育所、特別支援学校）になるための学びを重めます。令和7年度に新設の「子どもビジネスコース」では、子ども関連ビジネス業界への就職をめざします。どのコースでも、専門知識と現場を重視した幅広い実践的能力を身につけていきます。

#### \*「理論と実践」を融合させる授業

#### 【観察参加】（幼児教育コース）

1年間を通して、高松東幼稚園等で、園児との交流、保育の補助等を行い、先生の仕事を現場で学び、幼児に関わる力を身につけます。

#### 【学校支援ボランティア】（児童教育コース、特別支援教育コース）

1年間を通して、出身小学校（原則）で、教員の補助、個別の児童支援等を行い、先生の仕事を現場で学び、児童と向き合う力を養います。

#### \*自分で考え自分で行なえる人間の育成

#### 【げんき村わんぱく通り】

子どもたちに楽しんでもらえる遊具や遊びを創造し、大学祭での子育て支援イベントで楽しく交流します。また、「出張げんき村」を高松ミライエなどで開催します。

#### 【読み聞かせ隊】

ゼミナール活動として編成し、幼稚園や市立図書館、高松ミライエなどで、絵本の読み聞かせや絵本作り体験などを行います。



読み聞かせ隊

### ④ 学生生活・奨学金など

#### \*課外活動

大学、短大をあわせてクラブ15（体育会系6、文化系9）、サークル15（体育会系6、文化系9）が活動しており、サッカー部、ハンドボール部は強化クラブとして全国大会出場の実績があります。

#### \*学外セミナー

学部ごとに新入生歓迎セミナーを企画・開催し、学生・教職員間の親睦を深めています。

#### \*海外研修

学術交流協定を締結している教育機関での海外研修プログラムがあります。渡航経費の助成金支給や、語学に関する科目の単位認定も行っています。

#### \*奨学金制度

本学独自のさまざまな奨学金制度（特別、スポーツ、職業会計人育成、小学校教員養成、一般奨学生）を設け、経済的な支援を行う体制を整えています。

### ●お問合わせ先 （入学センター）

0120-078-56620



# 徳島文理大学

## ① 大学の特徴

徳島文理大学は高松市と徳島市の2キャンパスで大学・短期大学合わせて9学部28学科6大学院、3専攻科を展開しています。文系・理系・医療系の幅広い学部が揃う総合大学で、全国40都道府県から約3800名の学生が学んでいます。

香川薬学部・薬学部では充実した講義や実習、研究により、高い専門性と実践力を備えた薬剤師や研究者を育成します。また理工学部では先端科学の知識や技術を修得した科学者や技術者を輩出しています。文学部では日本語や英語圏の文化への幅広い知識や教養を身に付けた思考力と行動力を併せ持つ人材を育みます。保健福祉学部では高齢化社会に対応できる保健・医療・福祉の専門家を養成します。

また人間生活学部では衣・食・住、教育、心理の分野を通じて生活の向上を目指す6学科で構成されています。多角的な視点で、現代社会の問題解決能力を養う総合政策学部、聴く人に感動を与えられる個性豊かな音楽人を育む音楽学部など多彩な学部を展開しています。

さらに、学部・学科の堅実な知識・技術、資格を取得できる教育に加え、数理・データサイエンス・AI教育プログラムのリテラシーレベルを習得できるよう、文系・理系を問わず全学的に取り組んでいます。

両キャンパスには最新鋭の設備が整い、

総合大学ならではの多様な選択肢に恵まれた環境で学生生活を過ごすことができます。

## ② 高松駅キャンパス

2025年(令和7年)4月、徳島文理大学香川キャンパスは現在のさぬき市志度から高松市浜ノ町のJR高松駅横に全面移転します。敷地面積約2000坪に地上18階地下1階の建物を建設し、香川キャンパスのすべての学部・学科の教室、研究施設、図書館、体育館、音楽ホール、食堂、コンビニエンスストアなどを兼ね備えた「都市型キャンパス」に生まれ変わります。またキャンパス移転に合わせて、経営学科を設置します。



## ③ 資格取得をサポート

本学は医療系学科を多く持っています。特に国家試験対策の講座が充実しており、全国平均を上回る高い合格率を維持して

います。そのほかの資格取得に向けたサポート体制も充実しており、2023年度の就職率は99.0%、公務員就職者123名、公立学校教諭・保育士など正規合格者78名の実績があります。

資格取得に向けて各学科では個別指導や特別講座、学内模擬試験を行い丁寧な指導します。教職希望の学生には経験豊富な知識を持つ教職経験者が全力でサポートします。

## ④ 就職支援

就職のスペシャリストが学生一人ひとりにあった就職を支援していきます。入学当初から適職を選択できるように就職支援部と学科教員がサポートします。企業の人事担当者を招いての交流会や学内企業説明会、個別の企業説明会も毎年実施しています。

## ⑤ 学生支援

学生支援課では日常的な悩みから履修登録・下宿のほかに、奨学金・クラブ活動・ボランティア活動といった課外活動の支援も行っており、学生の皆さん一人ひとりのニーズに応じた学生支援を行っています。

特に、経済面から学生をサポートするため、学園創立130周年記念特待生制度、薬学部・香川薬学部特待生制度、「ミライのわたし」予約型奨学金、村崎さい奨学金などの各種の奨学金制度があ

ります。

## ⑥ 研究活動

学園創立130周年に向けて力を入れているのが、地域のニーズに応える特色ある教育・研究です。9学部が連携し地域の健康や福祉・教育・食料・災害・公共政策などSDGsに寄与する教育・研究を展開しています。すでに成果を上げている研究を紹介すると、野菜・果物の生長を促進させるLED照射装置の開発(ナノ物質工学科)、緑藻類成長因子「サルーシン」の合成に成功して世界で初めてアオサノリの陸上でのプラント養殖に成功した研究(薬学部)、災害時、車いす利用者の介助者のための野外避難を想定した訓練用教材の開発(理学療法学科)、VRゴーグルと一斉視聴システムを活用した最新の薬局調剤業務の体験学習(香川薬学部)、介護・福祉ロボットの開発(機械創造工学科)など、地域の現場に立ちながら課題を解決するスタイルを貫くことでSDGsの理念に沿った研究活動を行っています。

## ● 問い合わせ先

(徳島キャンパス)  
電話: 088-60218000 (代)  
(高松駅キャンパス)  
電話: 087-89917100 (代)

## 第66回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会 高知 大会報告

大会テーマ はばたけ若人よ 郷土の天空へ

「みんなあーが願いうぜよ！」

7月12日（金）、高知県立県民文化ホールにおいて高知大会が開催され、中国・四国より約1000名、香川県からは32校、59名が参加しました。

開会行事では、開会宣言に続き、高知県立高知丸の内高校音楽科の生徒による国家独唱があり、主催者からの挨拶に続き、高知県知事及び高知市長からの祝辞がありました。

午前中の講演会では、ジョンマン語り部の垣内守男氏から、「夢を叶えるジョンマン・スピリット」はじめて世界を見た日本人ジョン万次郎」と題して講演がありました。14歳の時の遭難と過酷な無人島生活、アメリカの捕鯨船に助けられてからのアメリカ生活と帰国のための奮闘、そして帰国後、幕末から維新にかけての多方面での活躍など、71歳で生涯を終えるまで、まさに今回のテーマにふさわしい生き方が紹介され、波乱万丈の人生に思いをはせることができた講演会となりました。

午後の部では、まず地元高知県内の4校の高校生による発表がありました。高知丸の内高校の音楽科生徒による合唱では、息の合った伸びやかな演奏に会場は魅了されました。高知農業高校からは、南国にしがわ農園と連携したグアバと呼ばれる果樹の有機農業やパンケーキミックス粉の商品開発など最先端の取組みが紹介されました。大方高校からは、南海トラフ地震に備え、「犠牲者ゼロ」を目標に、町ぐるみの防災の取組みが紹介されました。最後に、高知商業高校からは、ラオス学校建設の取組みやジビエを活用した商品の開発と販売の取組みが紹介されました。

研究協議では、各県代表の3校から、新設校や統合校で新たにPTA活動を始動する時期の取組みや学校の新規事業に協力する取組みなど、PTA活動の新たな挑戦が紹介されました。山口県立下関双葉高等学校による「多部制定時制高校のPTA活動（0から始めた5年間）」の発表では、令和元年度に開校した県内初の多部制定時制高校において、「できりことをできるだけ」を合言葉に、1年1年活動の幅を広げてきた様子が紹介されました。続いて、鳥取県立米子東高等学校からは、「PTA活動と地域に根差した魅力ある学校づくり推進事業の取組について」と題して、地域に根差した魅力ある学校づくり推進事業にもPTAが関わり、PTA会長が中心となって地域の方に監督をお願いする学校図書館開放事業など素晴らしい取組みの例を紹介されました。高知県立高知国際中学校・高等学校からは「高知国際中学校・高等学校のPTAの活動（はじめの一步）」と題して、統合以前の高校と3校合同で行う生徒会ユニセフ支援活動など新設校らしい魅力ある取組みが紹介されました。

閉会行事では、佐竹大樹大会実行委員長の挨拶の後、次期開催地である島根県高P連の方々による、趣向を凝らした島根大会の紹介や歓迎の挨拶がありました。最後に高知県からカツオのバトンが手渡される演出もあり、大盛況のうちに大会が終了しました。



地元高校生による物品販売



厳粛な雰囲気の開会行事

## 第73回 全国高等学校PTA連合会大会 茨城 大会報告

大会テーマ 「歴史の町で変革を」

「新たな時代が目に入らぬか」

8月22日（木）・23日（金）に、茨城県水戸市「アスタリア」とアリナナ」他4会場で、第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会が開催されました。大会には、香川県から29校54名が現地参加し、オンライン参加した学校も3校ありました。高P連プランは2泊3日の旅程で進路研修や科学研修なども加えたコースで実施しました。フルプランに参加していただいた会員の方は41名です。

大会第1日目は、5か所の会場に分かれて、分科会が行われました。それぞれ基調講演やパネルディスカッション、フリートークなどが行われました。「教育の過去・現在・未来」をテーマにした第1分科会は、弘道館の歴史など故きを温ねて新しきを知る旧水戸藩らしいテーマで、教育の不易流行が議論されました。第2分科会では「保護者・教師・生徒が抱える問題」、第3分科会は「家族の絆」、第4分科会では「これからのPTA」、第5分科会では「これからのコミュニケーション」をそれぞれテーマにしましたが、フリートークやグループワークが多く出た分科会が行われ、全国の会員同士で語り合いながら様々な分野の問題点の解決法を見出すことができたよう工夫されていました。

大会2日目は、『地域に愛されるマーチングバンド』を目標に全国レベルで活躍する茨城県立大洗高校マーチングバンド部の演奏が披露され、躍動感あふれる感動的な演奏に満員の会場は魅了されていました。その後、開会行事と表彰式、記念講演が行われました。全国高P連会長表彰では、本県から前高松高校PTA会長で前高P連副会長の入門美穂氏と前観音寺総合高校校長で前高P連理事の亀山磨聖氏が個人表彰、多度津高校と坂出第一高校の2校が団体表彰を受けられました。

記念講演は、第72代横綱稀勢の里で現二所ノ関親方による講演でした。演題は「人材育成の不易流行」です。現役引退後、親方の役割を研究するために大学院に進学し、スポーツビジネスの三大要素である勝利、普及、資金を満たすために東京ではなく茨城に部屋を設けたそうです。部屋での弟子の育成方法においても、四股やすり足など伝統的な基礎運動は重視しながらも、部屋に二面の土俵を作った一面は小中学生も稽古ができるようにしたり、1日2食から3食への変更、休日を設定したこと、弟子を全員フラットな関係にしたことなど、次々と新たなチャレンジが紹介されました。そして、皆様に愛される怪我に強い力士を育てたいことや、受け身ではなく自分自身で考え抜くよう指導したいことなど今後の抱負を語られました。最後には一昨年の部屋の勝率が1位となったことが紹介されました。時代に即した新たな指導へのチャレンジの重要性が再認識でき、今後の教育現場に生かすことができる素晴らしい講演となりました。



高P連プラン参加者の皆さん

閉会式では、大会実行委員長から参加の皆様へ感謝の言葉が述べられ、次期開催地の三重県へ全国高P連旗が引き継がれました。



全体会 全国高P連田名部会長の挨拶



## PTA活動紹介

## 三木高校

三木高校は令和7年に創立30周年を迎えます。創立以来、「自主・自律・友愛」の校訓のもと、生徒の自主性、主体性を重んじてきました。次世代をリードする豊かな人間性を備えた生徒を育成するため、保護者と教職員が一体となり、生徒の成長を見守る協力的な体制作りに努めています。

その一つの取り組みとして令和4年度、本校関係者を外部講師として活用することを目的に「みきレンジャー」が発足しました。現在、25名の方の登録があり、保護者や卒業生を中心に心強い支援をいただいています。今年度7月には看護師志望の3年生を対象に、看護職に対する理解を深めるための交流会が行われました。参加した生徒たちからは「看護師という職業の楽しさ、大変さなど新たに多くのことを発見できる貴重な機会となった」



「みきレンジャー」の方から看護職について聴く生徒たち

「自分がどのような看護師になりたいかを考えることができた。その理想に近づくためにできることをしたい」などの声が聞かれ、受験勉強に対するモチベーションにもつながった様子が伺えました。

また、PTA総会後の学級懇談会での保護者からの要望で、日を改めて保護者交流会を開いたクラスもありました。学校の様子や受験スケジュールなど、日頃不安に思っていることを情報交換する場になりました。参加者からは「高校になると保護者のつながりもなかなかできないと感じていたが、このような会があると心強い」「受験を経験している保護者の方の意見は参考になった」「先生のクラスやこの会への思いを聴けてよかった」などの感想が寄せられました。

30周年を目前に、さらに保護者と教職員の連携を密にしてこの支援体制を強め、生徒の成長を後押ししていきたいと考えています。



ラフな雰囲気で行われた保護者交流会

## 尽誠学園高等学校

本校は創立140周年という大きな節目を迎えています。従来型の教育だけではなく、特色ある新しい教育を、スピード感を持って取り入れ、それを日々の教育に取り組んでいます。

本校の教育活動の中で、PTAは「誠之会」という名称で活動しています。活動としては、役員会や年に2回の「誠之会だより」の発行、役員研修旅行などがあります。役員研修旅行では、毎年日帰りで中四国周辺を中心に実施されます。この研修の意義としては、教員や保護者同士の交流を深めると共に、地域の文化や歴史を学ぶ機会を提供することにあります。本校は、県外から入学する生徒も多いのが特徴です。そのため、保護者の方と直接お会いすることが出来ないことも少なくありません。そこで、研修旅行を実施することで、保護者の方



旧閑谷学校講堂前にて

保護者の方

との交流する機会を設け、コミュニケーションを通して、学校生活での出来事やお子様の様子について話すだけではなく、新たな視点やアイデアを共有し、学校と地域社会との連携を強化するための基盤を築くことも期待されます。さらに、中四国地方は歴史的な遺産や豊かな自然が多く存在し、それらを訪れることで地域社会への理解を深めるとともに、地域の文化や風習に触れることが出来ます。これにより、子ども達の教育に地域資源をどのように活用できるかを学ぶ機会となります。また、子ども達の教育環境をより良いものにするための知見を得るとともに、PTA活動の活性化を図ります。



旧閑谷学校の歴史を学ぶ

最後に、研修旅行を通じて得た知見を、学校と家庭の架け橋としてPTA活動に反映させることが重要です。参加者1人1人が研修旅行で得た経験を、今後の活動に活かし、学校と家庭の絆をさらに深めていきたいと考えています。

## 来夏開催「かがわ総文祭2025」

第49回全国高等学校総合文化祭 香川県実行委員会事務局

全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の祭典「第49回全国高等学校総合文化祭（かがわ総文祭2025）」が来年7月に開催されます。この大会は、平成3年の第15回大会以来34年ぶりの香川県での開催です。出場された保護者の方もいらつしやるのではないでしょう

うか。初日の7月26日には、完成間近のあなぶきアリーナ香川で総合開会式を、玉藻公園北側の水城通りで各県の代表校によるパレードを実施し、以後、31日までの6日間、県内各地において部門大会を開催します。開催期間中は、全国から約2万人の高校生が大会に参加し、引率者や保護者等の観覧者は延べ10万人が見込まれる大変大きな大会です。

この大会の特徴は、生徒が主体となつて企画や運営を行うことで、現在「生徒実行委員会」を立ち上げて、県内各地、各部門の高校生が開催準備を進めています。

「世界に誇る美しい瀬戸内の自然に囲まれ、創造性をかきたてるアートや魅力的な名所に満ちあふれた香川県で、2度目となる総合文化祭を開催します。私たちは、これまで紡いできた輝かしい伝統を引き継ぎつつ、



進化を続ける香川県の魅力と、新しい世代の価値観を織り交ぜながら、香川県から日本に、世界に、笑顔の輪を広げる大会を目指します。」と、県の特徴を生かした大会基本方針を生徒が考案しました。その笑顔の輪を広げるために、「伝笑、必笑、優笑」を合言葉に、技術の向上はもちろん、来場者に香川らしいおもてなしができるよう、学年や学校の枠を超えて活動を行っています。

7月31日には、「清流の国ぎふ総文2024」に参加し、香川大会をPRしてきました。「次は私たちの番だ!」と、生徒たちの表情が引き締まった瞬間でした。

大会テーマ「讃岐に咲くは才の花たち」のごとく、総文祭を通じて参加者だけでなく運営に携わる生徒も色とりどりの花を咲かせようと頑張っています。保護者の皆様も応援をよろしくお願いします。

## 【ブレ大会】

本大会開催に先立ち、今年度は各部門でブレ大会を行っています。このうち、11月3日（日）には、総合開会式をレクザムホールで、パレードを玉藻公園北側の水城通り及び、高松兵庫町商店街から高松片原町西部商店街まで行います。県内の高校の吹奏楽部や県警音楽隊、バントワリング団体等、約500名がパレードを練り上げます。高校生の輝くステージを、ぜひ間近でご覧ください。

総合開会式の観覧募集は大会ホームページにて行います。

## 【協賛等のお願い】

香川県実行委員会では大会開催に弾みをつけ、生徒たちの活動をより充実できるように、大会開催の趣旨に賛同し、協賛していただける企業・団体を募集しています。

また、広報サポーターとして、香川の文化活動を発信してくださる方も募集しています。申込み方法等の詳細は大会ホームページをご覧ください。

## 最新情報をチェック!



公式HP



X(旧Twitter)



Instagram

## PTA NEWS

## 高P連より

## 第2回 広報誌コンクールを実施

昨年度の学校広報誌のコンクール行い、6月11日に表彰式が行われました。今年度の各賞の受賞校は次のとおりです。

<b>最優秀賞</b>	香川北中・高校	<b>優良賞</b>	三本松高校
	香川中部支援学校		丸亀城西高校
<b>優秀賞</b>	高松西高校		高松中央高校
	高松桜井高校		香川県藤井高校
	高瀬高校	<b>企画賞</b>	該当なし

## 一般財団法人香川県高等学校教育振興会主催

## 第29回大学・専門学校訪問研修会(神戸・大阪方面)開催

今年のテーマ 【進化を続ける学校シリーズ】

**期 日** 令和6年10月18日(金)・19日(土)

**訪問校** 神戸学院大学、関西学院大学、神戸電子専門学校  
武庫川女子大学、大和大学(大阪府吹田市)

## 高校生総合保障制度

引受保険会社 : **AIG損害保険株式会社**

〈担当代理店〉 (有)アワード TMG (トータルマネジメントグループ) (株)アイネクスト